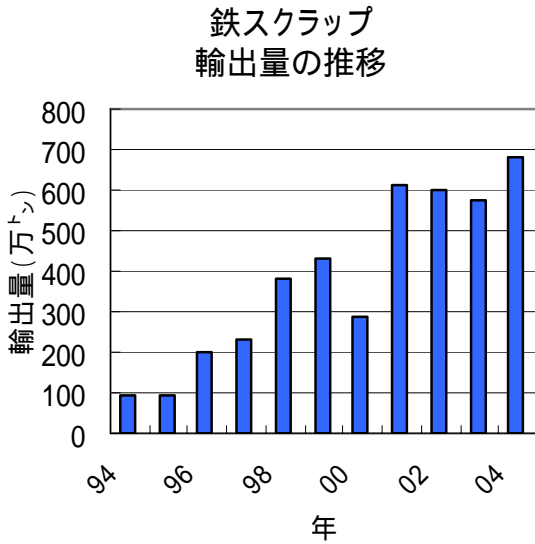


2. 交通分野

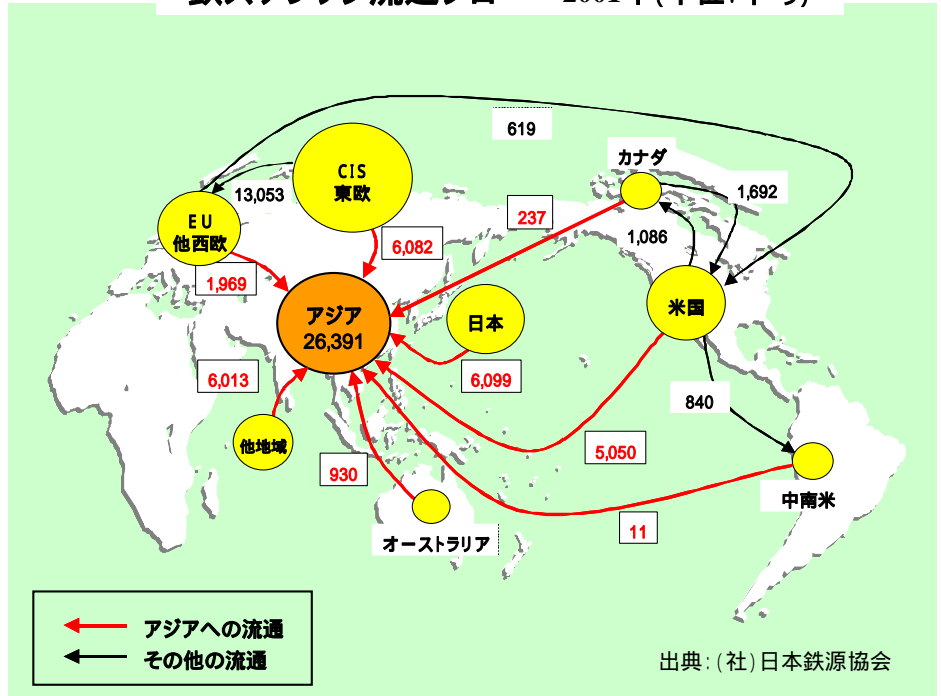
(2) 静脈物流システムの構築 リサイクルポートの構築等

経済成長著しいアジア諸国に対する循環資源の輸出量の増大



財務省「貿易統計」より

鉄スクラップ流通フロー 2001年(単位:千ト)



増加する循環資源輸出に対する対応が必要

・ 効率的な輸出システムによる循環資源の国際競争力強化

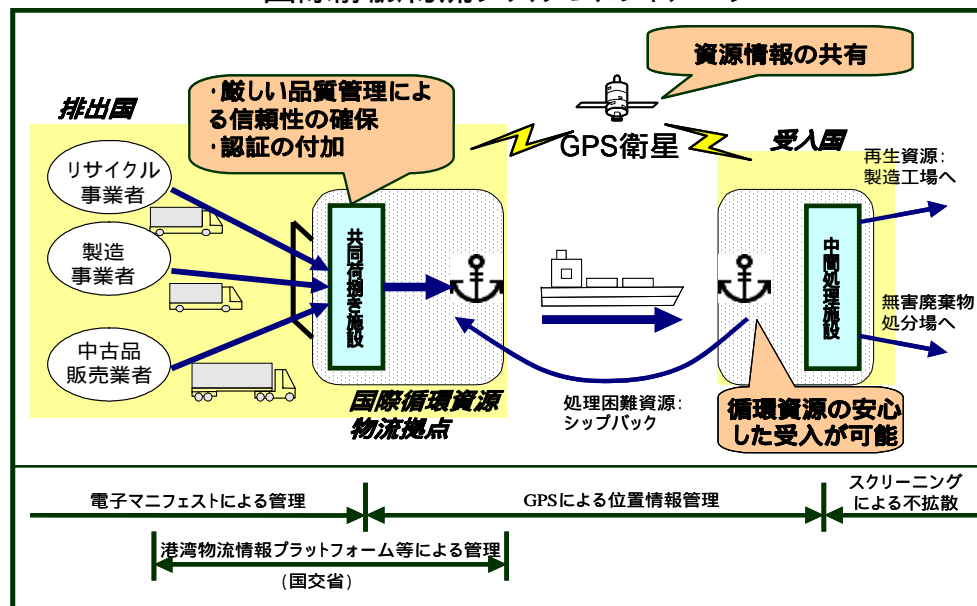
・ 受入国への信頼性の確保

国際静脈物流システムの構築へ

循環資源を扱う輸出ターミナルの拠点化・大型化、品質管理の強化等の国際静脈物流システムについて検討(平成17年度は、国際循環資源の流動実態の分析と課題を抽出)

国際静脈物流システムのイメージ

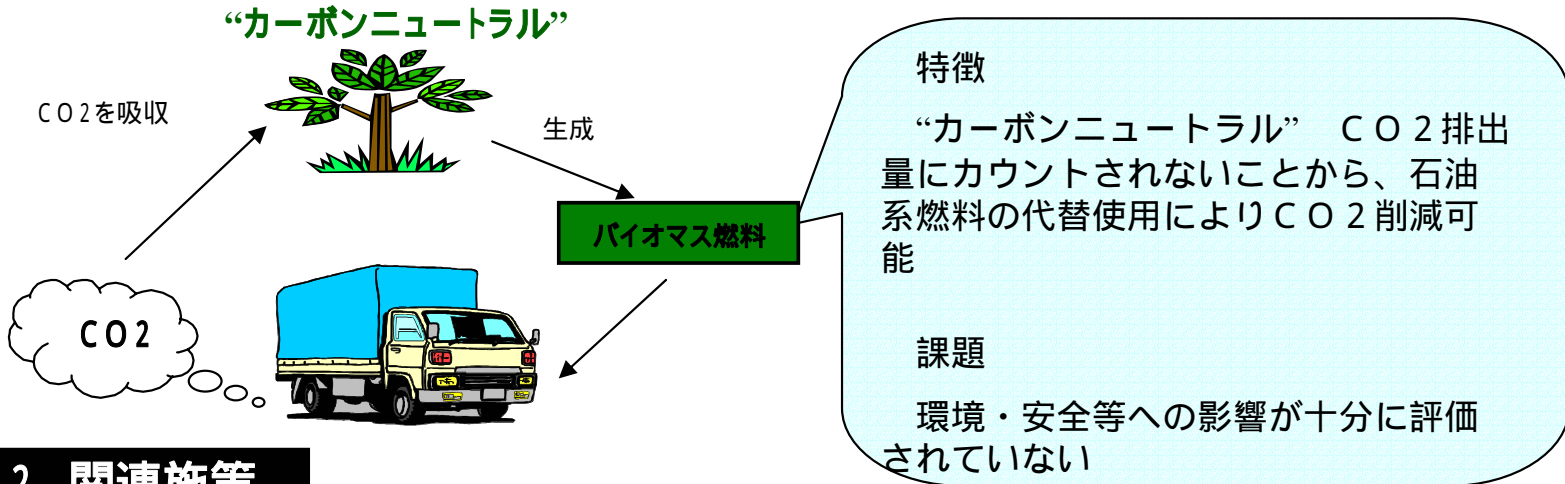
鉄スクラップ荷役状況



2. 交通分野

(3) 自動車に使用するバイオディーゼル燃料関係

1. バイオマス燃料の特徴・課題



2. 関連施策

新燃料使用時の排出ガス等実態調査(H14年度～H17年度)

バイオディーゼル燃料を軽油中に添加した場合の排出ガスに及ぼす影響を調査

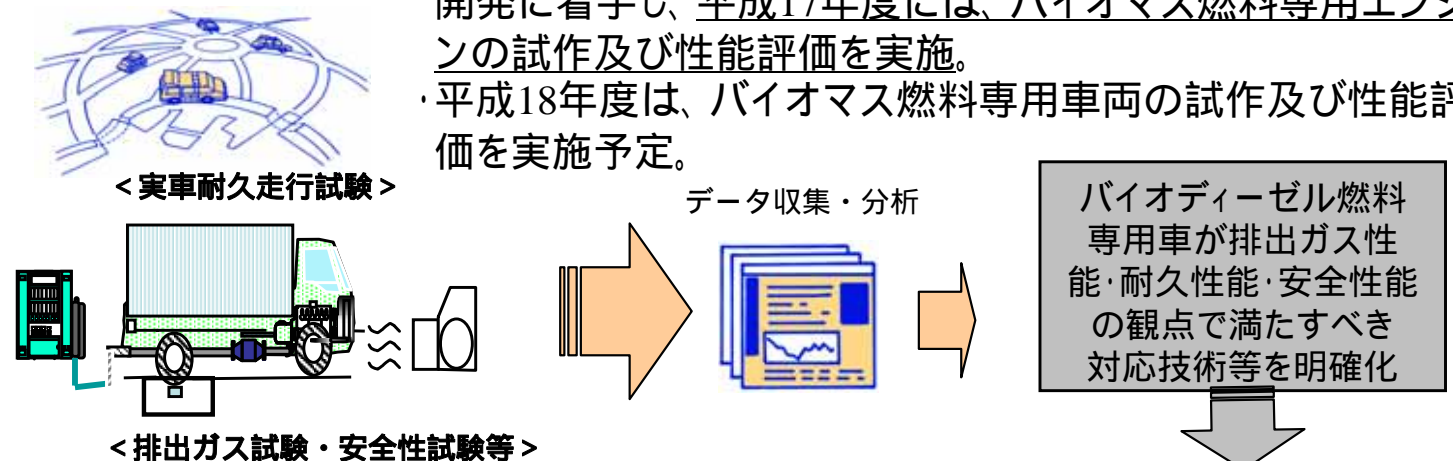
バイオディーゼル燃料を軽油に添加した場合、軽油のみを使用した場合に比べ、PM中のSOF・NO_xや一酸化炭素が増加する等の課題がみられた。これらの成分については、酸化能力の高い触媒を装着することにより低減が可能。

平成17年4月の中環審答申「今後の自動車排出ガス低減対策のあり方について(第八次答申)」において、「酸化能力の高い触媒を装着する必要がある、その旨を徹底することが適切」ことが提言された。

バイオマス燃料対応自動車開発促進事業(H16年度～)

バイオディーゼル燃料専用車を試作し排出ガス・安全・耐久性能評価を行うことにより、バイオディーゼル燃料専用車が環境・安全面で満たすべき車両側対応技術等を明確にする。

- 平成16年度からバイオマス燃料専用エンジンの要素技術の開発に着手し、平成17年度には、バイオマス燃料専用エンジンの試作及び性能評価を実施。
- 平成18年度は、バイオマス燃料専用車両の試作及び性能評価を実施予定。



バイオディーゼル燃料対応車の開発・普及促進